

# 新井小学校

## 1 概要

- (1) 創立 明治7年1月25日  
(2) 所在地 妙高市白山町4丁目1番12号  
(3) 教職員 校長 金子 博信  
教頭 石田 浩久  
主幹教諭 1名 教諭 28名 養護教諭 1名 栄養士 1名  
事務主幹 1名 教育補助員 2名 栄養補助員 1名 司書 1名  
用務員 2名 講師 1名 特別支援教育支援員 12名  
非常勤講師 2名

- (4) 学級編制 (5月1日現在)

| 学年 | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 特別支援学級 | 合計  |
|----|----|----|----|----|----|----|--------|-----|
| 学級 | 2  | 2  | 2  | 3  | 3  | 3  | 9      | 24  |
| 男  | 29 | 28 | 34 | 32 | 34 | 48 | 36     | 241 |
| 女  | 27 | 23 | 31 | 47 | 39 | 47 | 17     | 231 |
| 計  | 56 | 51 | 65 | 79 | 73 | 95 | 53     | 472 |

## 2 学校経営の基本構想

- (1) 学校の課題  
①円滑な3校統合の実施  
②全校体制での授業改善による学力向上  
③地域や保護者との連携・協力体制の強化
- (2) 学校経営の方針  
①安全で安心な学校生活を確保する。  
②教職員全員で明るく、さわやかな学校づくりを心掛け、保護者・地域住民への説明責任を果たし、地域に開かれた信頼される学校づくりに努める。  
③教職員の相互理解と信頼関係を基盤に、専門職としての資質を高め、創意を生かした教育実践を行い、教育目標（年度の重点目標）が意図する子供を育成する。  
④保護者、地域住民との連携を深め、地域の自然、文化、伝統を生かした教育を実践することによって、郷土を愛する心をもった子供を育成する。

## 3 学校の教育目標

「よい子 つよい子 できる子」  
◇「自立」と「共生」の基礎を培う

## 4 本年度の重点目標及び努力事項

- (1) 重点目標

「自分の思いや考えをもち、進んで取り組む子」

<5つの視点>

- 「郷土愛」 郷土への愛着心
- 「かかわる力」 人間関係形成・社会形成能力
- 「みつめる力」 自己理解・自己管理能力
- 「やり抜く力」 課題対応能力
- 「夢おこす力」 キャリアプランニング能力

## (2) 目標及び実践事項

### ①郷土愛

#### 【目標】

○地域とかかわり、よさを実感することができる。

#### 【実践事項】

○地域の特性を生かし、地域交流、地域貢献をキーワードとした生活科、総合的な学習の時間の改善を図る。

○地域の「人・もの・こと」とのかかわりを通して、地域のよさに気付く活動を充実する。

### ②かかわる力

#### 【目標】

○自分も相手も大事にすることができる。

#### 【実践事項】

○他者とかかわり、自己有用感を高める活動を充実する。

○仲間と協働しながら、課題を解決する授業づくりを工夫する。

### ③みつめる力

#### 【目標】

○自分の成長に気付くことができる。

#### 【実践事項】

○振り返りを生かした活動の場を設定する。

○健康や食生活に関心を持ち、自分をコントロールする力を育む活動を充実する。

### ④やり抜く力

#### 【目標】

○めあてに向かって努力することができる。

#### 【実践事項】

○課題に対する子どもの「ズレ」や「ツマズキ」を生かした授業展開を工夫する。

○子どもに合った課題選択の場を設定する。

### ⑤夢おこす力

#### 【目標】

○将来の夢や希望をもつことができる。

#### 【実践事項】

○多様な体験活動を通して、自分の生き方を考える場を設定する。

○職業について理解を深める活動を工夫する。

## 5 各教科・道徳・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動の指導の重点

### (1) 各教科・道徳・外国語活動・総合的な学習の時間

|    |   |
|----|---|
| 国語 | ・音読活動やワークシート、ノートなどを活用した授業の実践を通して、読む力を育てる。<br>・一人一人の思いを大切に書いた書く活動を通して、適切な表現で書く力を高める。                                   |
| 社会 | ・観察、調査、資料を通して、事象の特徴や他の事象との違いに気づき、自分の思いや考えをもち、進んで取り組む力を育てる。  |
| 算数 | ・問題場면을把握し、筋道立てて進んで説明する力を育てる。  |
| 理科 | ・自然の事物・現象について理解し、科学的な見方や考え方を育てる。<br>・観察・実験から得た事実を話し合い、考えを比較したりまとめたりする力を高める。<br>・図や表、言葉を用いて、予想や実験結果、きまりを論理的に表現する力を高める。 |
| 生活 | ・様々な人・こと・物とかかわる活動を通して、気付いたことを自分なりの方法で表したり伝えたりする力を高める。   |
| 音楽 | ・自分の思いや意図を伝え合いながら、工夫して音楽表現ができるようにする。  |

|           |   |
|-----------|---|
| 図工        | ・表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながらつくりだす喜びを味わわせるとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。                              |
| 家庭        | ・実践的・体験的な活動を通して、家庭生活への関心を高めるとともに、日常生活に必要な基礎的な知識と技能を身に付け、家族の一員として家庭生活をよりよく工夫しようと努めることができるようにする。      |
| 体育        | ・運動やスポーツに関心をもち、発達の特性に応じた運動に親しむことができるようにする。<br>・めあてをもって運動に取り組み、自分の体力の向上と健康の保持増進に努めることができるようにする。      |
| 道徳        | ・思いやりの心をもち、認め合い協力し合う態度を育てる。   |
| 外国語活動     | ・外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。 |
| 総合的な学習の時間 | ・課題に対して自らの思いをもち、解決方法を考えて追究し、これからの自分の行動について考えることができるようにする。   |

## (2) 特別活動

|       |  |
|-------|--|
| 学級活動  | ・学級活動における諸問題の解決、学級内の仕事の分担・処理、日常の生活や学習への適応及び健全な生活態度を身に付ける活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい学級にしようとする自主的・実践的な態度を育てる。 |
| 児童会活動 | ・学校生活に関する諸問題を解決する活動及び学校内の自分たちの仕事を分担処理する活動を自発的、自治的に行うことによって、自主性と社会性を養い、個性の伸長を図る。                                |
| クラブ活動 | ・学年や学級の所属を離れた集団を組織し、共通の興味・関心を自発的に追求する活動を通して、個性の伸長を図るとともに、余暇を有効に活用しようとする態度を育てる。                                 |
| 学校行事  | ・学校生活に秩序と変化を与える集団活動を通して、連帯感や集団への所属感を高める。   |
| 地域児童会 | ・地域での生活や登下校についての諸問題を、自主的、自発的に解決できるようにする。   |

## 6 各種教育の指導の重点

|            |  |
|------------|--|
| 環境教育       | ・環境の大切さを知り、進んで自然を守る子どもを育てる。  |
| JRC・福祉VS教育 | ・様々な人との触れ合いの中で、かけがえのないお互いの存在を尊重する気持ちを育て、自分にできることを考え実践できるようにする。   |
| 情報教育       | ・情報モラルに基づいた情報機器活用と情報活用能力の育成を図る。  |
| 国際理解教育     | ・我が国の文化と異なる文化をもつ国・地域や、そこで暮らす人々への理解を深め、それを尊重し、国際社会の中でともに生きていく態度を育てる。<br>・外国語を話す活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。 |
| 人権教育、同和教育  | ・差別や偏見に対する認識を深め、共に生きる仲間の心を大切にし、差別をしない、差別を許さない実践的な態度を育てる。   |
| 給食指導・食育    | ・食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。(食事の重要性)<br>・心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。(心身の健康)                     |
| 保健・健康教育    | ・自分の心や体の健康に関心をもち、毎日を健康に過ごすための自分なりの方法を考え実践する態度を育てる。   |
| 安全・防災教育    | ・発達段階と時を捉えた具体的な指導によって、生命の尊さを意識させ、正しい判断のもとで安全に行動できる能力と態度を育てる。   |
| 図書館教育      | ・図書館の働きを理解し、目的に合った資料を利用しようとする態度を育てる。<br>・児童の発達に即した読書を推進し、言語活動の充実を図る。   |

|        |   |
|--------|---|
| 特別支援教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた指導法の工夫により、基礎基本となる学力の定着を図るとともに、よりよい生活をしようとする態度を育てる。</li> <li>・特別支援学級の児童と通常学級の児童との交流及び共同学習を通して、自分のよさ・互いのよさを認め合い、前向きに取り組もうとする態度を育てる。</li> </ul> |
| キャリア教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人に身のまわりの仕事や環境への関心意欲をもたせるとともに、職業への夢や希望・憧れる自己イメージを獲得し、勤労を重んじ目標に向かって努力する態度を育てる。</li> </ul>  |
| 男女平等教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権尊重、男女平等の正しい人権感覚を磨き、互いを思いやり、認め合う豊かな人間関係を築こうとする態度を育てる。</li> </ul>   |
| 清掃教育   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで生活の場をきれいに住みやすくすることの大切さに気付かせるとともに、みんなで過ごしやすい場を作っていこうとする気持ちや態度を育てる。</li> </ul>   |

## 7 道徳教育の大綱

### (1) 道徳教育の重点目標

- 思いやりの心を持ち、認め合い協力し合う態度を育てる。
  - ・自他の生命を大切にする。
  - ・自他の心や立場を認め尊重する。

### (2) 学年の重点目標

- 低学年
  - ・生きることを喜び、生命を大切にすることをもち。
  - ・善悪の意識を持ち、約束を守って友達や上級生と仲よくしたり助け合ったりする。
- 中学年
  - ・生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にすること。
  - ・友達や相手のことを理解し、思いやりと信頼の心をもって助け合う。
- 高学年
  - ・生命がかげいのないものであることを知り、自他の生命を尊重すること。
  - ・だれに対しても思いやりの心を持ち、互いに信頼しあって友情を深め、相手の立場に立って助け合う。

### (3) 具体的な実践の方向

- ①学年の発達段階に即した体験活動、行事、教科との関連を図り、学年の年間指導計画を改善し、活用する。
- ②児童が自らの問題とするために、資料の提示や発問の仕方、指導方法等を工夫する。
- ③自分の考えをもとに書いたり話し合ったりする活動を授業の中に位置付け、本音を出し合う授業を実践する。
- ④「私たちの道徳」を活用する。
- ⑤「生きる」シリーズや他の資料の活用を図る。

## 8 生徒指導の大綱

### (1) 生徒指導の重点

相手の立場を相互に認め合い、よりよい人間関係をつくらうとする態度を育てる。

### (2) 生徒指導の努力事項

- ①児童と教師、児童と児童が触れ合う時間を重視し、信頼関係を深める。
- ②全職員が共通理解のもとで、基本的な生活習慣の定着を図る。
- ③児童が自ら判断して行動する機会（自己決定の場）を多く設け、自己指導能力の育成を図る。

### (3) 具体的な実践の方策

- ①人間関係力の育成（かかわり合い、自己有用感を高める活動の充実）
  - 学級づくり、授業における人間関係づくり
  - 異年齢集団活動の実施
  - 自己有用感を高める場の設定
  - リーダー育成の取組

②規範意識の醸成

○ルールへの定着；「新井小ノパワーアップルール」「あいさつ・正しい言葉づかい」の徹底、日常的な指導

○生活上の問題を主体的に話し合う活動の重視

③人権意識の高揚・いじめの未然防止

○人権教育、同和教育の授業の実施

○いじめ見逃しゼロ強調週間の設定

④児童の実態把握

○日常的な教育相談と情報交換の実施、教育相談強調月間の実施

○職員会議、学年会等において児童の様子について話し合う場の設定・子どもを語る会の実施

○養護教諭や特別支援教育コーディネーターとの日常的な情報交換

○YTDアンケート（児童アンケート）やQ-Uアンケートの実施

○保護者との情報交換を図るための家庭訪問や面談

⑤連携と研修

○中学校区の学校と連携した児童生徒の社会性育成

○職員間の情報交換による連携と即時対応できる体制づくり

○連絡帳、学校だより、学年だより、保護者懇談会を通じての家庭との連携

○問題行動未然防止及び情報交換を目的とした新井中学校区の小中学校との連携

○地域懇談会を通してのPTA地域部との連携

○派遣カウンセラー、ソーシャルスキルワーカー、家庭児童相談員、子ども若者支援相談員

児童相談所、適応指導教室、教育委員会、民生委員等との連携

○いじめに関する校内研修の実施

## 9 校時表と週授業時数

### (1) 校時表

|             | 月                 | 火               | 水   | 木                     | 金               |
|-------------|-------------------|-----------------|---|-----------------------|-----------------|
| 8:15～8:30   | 朝読書               | 朝読書             | 全校朝会  | フツ化物洗口<br>朝読書         | 朝学習             |
| 8:30～8:40   | 朝の会               |                 |   |                       |                 |
| 8:40～9:25   | 1 限               |                 |   |                       |                 |
| 9:30～10:15  | 2 限               |                 |   |                       |                 |
| 10:15～10:35 | 20分休み             |                 |   |                       |                 |
| 10:35～11:20 | 3 限               |                 |   |                       |                 |
| 11:25～12:10 | 4 限               |                 |   |                       |                 |
| 12:10～12:50 | 給食                |                 |   |                       |                 |
| 12:50～13:35 | 昼休み               |                 |   |                       |                 |
| 13:35～13:50 | 補充学習              | 清掃              | 5限～14:20  | 清掃                    |                 |
| 13:55～14:40 | 5 限               |                 | 14:35 帰りの会  | 5 限                   |                 |
| 14:40～14:55 | 帰りの会              |                 | 職員研修<br>1学期 15:00～<br>2・3学期<br>15:35～16:45<br>放課後補充学習<br>2・3学期<br>15:00～15:35 | 帰りの会                  |                 |
| 15:00～15:45 | 6 限               |                 |   | 6 限                   |                 |
| 15:50～16:45 | 職員会議<br>重点戦略検討委員会 | 課外活動<br>研究推進委員会 |   | 課外活動<br>(4～7月)<br>学年会 | 課外活動<br>研究推進委員会 |

(2) 授業時数

| 区 分           | 第1学年  | 第2学年 | 第3学年  | 第4学年   | 第5学年   | 第6学年   |
|---------------|-------|------|-------|--------|--------|--------|
|               | 34週   | 35週  |       |        |        |        |
| 国 語           | 306   | 315  | 245   | 245    | 175    | 175    |
| 社 会           |       |      | 70    | 90     | 100    | 105    |
| 算 数           | 136   | 175  | 175   | 175    | 175    | 175    |
| 理 科           |       |      | 90    | 105    | 105    | 105    |
| 生 活           | 102   | 105  |       |        |        |        |
| 音 楽           | 68    | 70   | 60    | 60     | 50     | 50     |
| 図画工作          | 68    | 70   | 60    | 60     | 50     | 50     |
| 家 庭           |       |      |       |        | 60     | 55     |
| 体 育           | 102   | 105  | 105   | 105    | 90     | 90     |
| 道 徳           | 34    | 35   | 35    | 35     | 35     | 35     |
| 外国語活動         |       |      |       |        | 35     | 35     |
| 総合的な学習の<br>時間 |       |      | 70    | 70     | 70     | 70     |
| 学級活動          | 34    | 35   | 35    | 35     | 35     | 35     |
| 小 計           | 850   | 910  | 945   | 980    | 980    | 980    |
| 児童会           | 6     | 6    | 6     | 6      | 6      | 6      |
| 学校行事          | 31.5  | 32   | 32.5  | 33.5   | 36.5   | 42.5   |
| クラブ           |       |      |       | 7      | 7      | 7      |
| 小計            | 37.5  | 38   | 38.5  | 46.5   | 49.5   | 55.5   |
| 総時数           | 887.5 | 948  | 983.5 | 1019.5 | 1022.5 | 1028.5 |

## 10 研修計画

### 〈研究主題〉

子どもの「学習力」を高める指導の工夫 ～必然性のある課題解決の過程を通して～

#### (1) 研究主題設定の理由

当校の児童は与えられた課題に対しては、まじめに最後まで取り組むことが多い。しかし、自分から進んで考え見通しをもって行動する態度が身に付いている児童は多くない。これは、児童自身が活動に対して、「自分はこうしたい。」「こうありたい。」という思いや願いをもたず、それを実現しようという前向きな意識が育っていないことが一因と考えられる。言い換えれば、学校生活における様々な事象や課題、出来事を自分事として捉え、よりよくなろうという意識が低いことを表している。例えば、学習面において、解答の正誤のみで満足していて、より高まろうとする意欲に欠けている姿が見られる。友達がそう考えた理由について関心をもたずに、その説明を自分事として受け止めていないということでもある。これは、逆に自分がなぜそのように考えたのかというプロセスを友達に語って理解してもらったり、共感してもらったりしようとする意欲が感じられていないことにもつながっている。こうした考え方がこれまでの長い間に蓄積され、活動全般において他人事となっていることの大きな要因でもある。昨年度かなり改善されたが、運動会や若竹フェスティバル、マーチング等の行事の場面や、日常のあいさつや返事、授業規律など生活態度面で主として高学年を中心にこのような姿が見られる。

このような児童の課題を踏まえ、昨年度から、職員全員で目指す児童の姿を想定し、ランドデザインの見直しを行った。その結果、児童の「自立」と「共生」を育むために、「キャリア教育」をすべての教育活動の基軸に据え、重点目標「自分の思いや考えをもち、進んで取り組む子」を育てるために、キャリア教育の5つの視点「郷土愛」「かかわる力」「みつめる力」「やり抜く力」「夢おこす力」を具現化するための学習活動の編成や、その実践をもとにした評価を行うこととした。

そして、校内研究においては、主として「確かな学力」を培うために、一人一人の「学習力」＝「自ら学ぶ力」を高めることが、上記の課題を解決する最も有効な方策であると考えた。

## (2) 研究主題について

### ①「学習力」とは

学習意欲や知的好奇心をベースにして、学習計画力、集中力、持続力、コミュニケーション能力などを総合した力と定義する。

「学習力」を身に付けることにより、受身的ではなく自律的な学習へと転換できる。自律的な学習の主体になることが学力向上の方策として最も重要で効果的だと考える。

### ②必然性のある課題解決の過程

|                         |   |  |
|-------------------------|---|--|
| 課題設定                    | 「子ども同士で意見が分かれる」「(もの・ことが) 自分の予想や既習の認識と違う」「興味がある」「やってみたい」等、「解決したい」という気持ちにさせる手立てを講じる。(教材、発問、体験等) | 語活動を適切に取り入れる。<br>○「読む」「書く」「話す・聞く」等、言<br>深める活動を取り入れる。<br>も相互の意見交換(交流)の中で思考を<br>協同的な学習活動を仕組む。特に、子ども<br>○それぞれの過程において、可能な限り、 |
| 見通しを立てる                 | 予想する、計画を立てる。<br>何をどのように学んでいくとよいのか考える。   |  |
| 中心となる活動                 | 〈児童が見通しを立てた活動〉  |  |
| 振り返り<br>(授業の終末または単元の最後) | 記述を通して、自分の理解状態を確認する。相互評価する。<br>教師が評価する。(他者評価)<br>「学んでよかった」「価値ある時間だった」…学びの豊かさを実感したり価値を納得したりする。 |  |

## (3) 研究の方法

### ①授業づくり

- 授業研究の実施  
学級担任は、1回ずつ授業研究を行う。
- 「授業改善10の視点」の活用  
授業を学年間で見合うとき、級外職員が見るとき、研究授業のとき、自分の授業を構想するとき活用する。
- Web 配信問題、NRT、全国学力学習状況調査による学力の把握と対策
- 生活科・総合的な学習の時間の年間活動計画の改善
- 外部指導者を活用(慶応大学 佐久間亜紀先生、市教委指導主事)

### ②学級づくり

- 学級だより発行による自己啓発  
「自ら意欲的に学んでいる姿が見られた授業」を描写して、保護者や同僚に伝える。 注2
- 「きく力」6つのポイントにより、相手を尊重し合う学級風土の醸成
- 心・生活づくり委員会と連携した取組

### ③学習習慣・基礎基本

- 家庭学習の充実(家庭学習ノート・チェックシート、次の授業の課題に関わる自主学習)
- 「学力タイム」「放課後パワーアップ教室」の実施

## (4) 研究を進めていく上での共通理解事項

- ① 1つの授業、1つの単元で、学習計画力からコミュニケーション力までの全てを高めなくてはいけないとは考えない。1つの力が高まると他の力も高まっていく、と考える。
- ② 発達段階等に応じて、「自律」の度合いは異なる。また、1学期と3学期でも異なる。  
例えば、4月当初のクラスの児童は「学習計画力」はまだ低いと教師が判断すれば、教師が児童との問答で計画を立てる活動を行い、計画を立てる経験をさせるということも必要であろう。

低学年では、活動に際して相手意識・目的意識をもたせることが「必然性のある課題解決の過程」につながるのかもしれない。

「3/5L+4/5Lの和は、7/10Lなのか7/5Lなのか、どう考えたらよいか」という課題、「ごんの気持ちを想像して読みましょう」という課題が、本当に解決したい課題になるように教師が工夫することから始める。

- ③1つ1つの授業研究を通して、成果と課題を明文化し共有していく。「めざす子どもの姿」は、1学期の授業研究を通して設定していく。3月にできるだけ多くの子どもが到達しているように授業を構想していく。

## 11 主な学校行事の予定表

| 月  | 儀式的行事                    | 文化的行事           | 健康安全・体育的行事  | 遠足・集団宿泊的行事     | 勤労生産・奉仕的行事       |
|----|--------------------------|-----------------|---|----------------|------------------|
| 4  | 新任式0.5<br>始業式0.5<br>入学式1 |                 | 発育測定1<br>視力検査0.5<br>聴力検査0.5 (1・2・3・5年)<br>内科検診1                           |                |                  |
| 5  |                          |                 | 運動会3<br>運動会予行2<br>心臓検診1 (1・4年)<br>眼科検診0.5<br>歯科検診0.5<br>耳鼻科検診0.5 (1・3・5年) |                | 運動会前日<br>準備2(6年) |
| 6  |                          |                 | 避難訓練1   |                |                  |
| 7  | 終業式1                     |                 |   |                |                  |
| 8  | 始業式1                     |                 |   |                |                  |
| 9  |                          | 芸術鑑賞教室1         | 発育測定0.5<br>陸上大会2 (5・6年)<br>避難訓練1  | 修学旅行12<br>(6年) |                  |
| 10 |                          | 若竹FS2           | 歯科検診0.5   |                |                  |
| 11 |                          | 市音楽発表会1<br>(6年) |   |                |                  |
| 12 | 終業式1                     |                 |   |                |                  |
| 1  | 始業式1                     |                 | 子どもの健康を語る会1<br>(5年)<br>避難訓練1<br>安全の日の集会0.5<br>発育測定0.5                     |                |                  |
| 2  |                          |                 | スキー教室1(3~6年)  |                |                  |
| 3  | 終業式1<br>卒業式3<br>卒業式練習4   |                 |   |                | 卒業式前日<br>準備1(5年) |
| 1年 | 1 4                      | 3               | 1 5   |                |                  |
| 2年 | 1 4                      | 3               | 1 5. 5  |                |                  |
| 3年 | 1 4                      | 3               | 1 6   |                |                  |
| 4年 | 1 4                      | 3               | 1 7   |                |                  |
| 5年 | 1 4                      | 3               | 1 9   |                | 1                |
| 6年 | 1 4                      | 4               | 1 8   | 1 2            | 2                |

※諸行事 5月 知能検査1 (2・4・6年)